

## 令和2年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

事業実施主体	株式会社琉SOK
プロジェクト名	ストレート型超音波流量計の量産化
事業内容	市場で使用されている大半の従来型超音波流量計は、構造上、直線形状にすることはできなかったが、本事業では、新たに開発したストレート型超音波流量計によるバリエーション(管路口径)の拡大を目的とし、口径流量別の金型の製作および校正装置の製作を行う。
今後の計画	2021年度：国内500台 2,500万円 2022年度：国内20,000台 10億円 2023年度：国内50,000台 25億円
最終目標と現状	最終目標) 国内 5万台 25億円(翌年度以降はモデルチェンジを想定) 現状) 令和3年3月期 累計出荷台数 150台 750万円
補助事業の効果	ターゲットである半導体市場への展開は、国内一の半導体洗浄メーカーへ500台以上の納入を終え、次世代洗浄装置に搭載され性能評価が始まっている。 次世代洗浄装置はエンドユーザの評価完了後、主流となる予定であり、月産15~20装置が見込まれている。洗浄装置一台あたり本件流量計を約400台使用するため、一ヶ月あたり6000~8000台の販売が予測され、大きな売り上げが期待できる。 この他にも医療分野への展開も進めており、既にサンプル評価を開始し、高評価を得ているので半導体市場以外への展開も期待される。

(写真) テフロン自動溶着機



UBF-006&UCUF04SB



自動校正装置



工場 全景

